

福岡県春木田の巨峰



生産者、春木田グループの皆さん

生産者（団体）

福岡県鞍手郡鞍手町は、20 年以上前から巨峰の栽培に取り組んでいるところです。

春木田連合出荷組合はこの鞍手町で、生協組合員が望む「安全性が高く、おいしいぶどう」作りに取り組む 4 戸の生産者グループ。（春木田の名は、グループ生産者の名字を組み合わせでつけたグループ名称です。※春田さん、木原さん、田中さん二名）露地栽培とハウス栽培を組み合わせでの生産をおこなっています。

2013 年 2 月、「産直事業協定」調印。

1 産地で 2 度美味しいー春木田巨峰

ハウス栽培は、収穫時期を早めるだけではなく、病気の原因になりやすい雨を防ぎ、農薬量の削減にもつながります。また、雨を防ぐことで水っぽくない糖度の高い巨峰になります。

	食味	出荷時期
ハウス栽培	まろやかな味わいが特徴	8 月頃
露地物栽培	酸味がきいた甘味が特徴	9 月～10 月頃

※出荷期間は、天候によって変わりますが、それぞれの時期のあじわいが楽しめるのも、春木田グループとの産直取り組みならではの。

可能な限り農薬を使わずに

安全性のこだわりとあわせて、ぶどうの木をより強くし、おいしい巨峰を収穫するため、除草剤は使用せず、手作業による草取りをおこなっています。

ぶどうは、とにかく病気や害虫に弱い作物。無農薬という訳にはいきませんが、堆肥主体の土作りで、ぶどうの木そのものの活力を上げることで抵抗力をつけ、農薬の使用量を必要最小限に抑える努力をおこなっています。

美味しさの継承

新しい樹を植える際は、購入した苗木をそのまま植えるのではなく、グループ内で美味しい巨峰が出来る樹の枝を使い、接ぎ木を行って育てています。そうすることで、春木田の巨峰の美味しさが継承されていきます。生協組合員の為に美味しい巨峰を作り続けることは、産直産地にとって苦勞もありますが、やりがいもあります。

生産者との交流

数年に 1 度、農作業の合間を縫って、生産者の方と生協組合員で交流を行っています。

2017 年度には、北部地域の組合員さんが現地を訪れました。



2021 年は、春の低温被害の影響で結実不良が発生し、収穫量が例年の 7 割減という大不作の年でした。宅配の企画も取り扱い期間を制限せざるを得ず、毎年春木田の巨峰を楽しみに待って下さっている組合員様には大変ご迷惑をお掛けしました。大打撃を受けられた産地の皆さんですが、すぐに気持ちを切り替えられ、2022 年は美味しい春木田の巨峰をお届け出来るよう頑張っ

て頑張っています。今年もこれまでに以上に春木田の巨峰を宜しくお願い致します。